

# わがまち トーク

I LOVE HANDA

村上眞喜子さんの活動拠点、半田市岩滑高山町の特定非営利活動法人りんりんを訪ねる。村上さんの夢に掛ける思いがひしひしと伝わる終始熱いインタビューとなった。

「私のことを『なりゆき人生』って評される人がいましたが、本当にそのとおりだと思います」  
村上さんは障がいを持

村上眞喜子さん 青森県の生まれ、神奈川県で会社勤めのとき民間企画の青年の船（ロシア）に参加、一緒の船に乗り合わせた愛知県のご主人と25歳のときに結婚、半田に転居してから始めたボランティアがいまの活動の原点になっている。平成6年、りんりんを組織して代表に就任。

持つ人たちの作業所でボランティアをしていたとき、腕を痛めた。その治療に当たって、病院を退院されるお年寄りの生活支援や介護サービスを始めることになった。

「設立することには、ところが、他の人たちは事情があつて代表者になれない。『なる人がいないという理由で代表をお引き受けすることになりました』と笑う。それから十四年間、りんりんとともに走り続けた。

「初めは乙川でスタートしました。建物が古くて苦労しましたが、みんなで工夫して、楽しく活動できました」  
その後、岩滑に移り、ヘルパーが六十人近くに増え、駐車場もなく、新しい拠点を探すことに。

「困ったときはお互いの気持ちで高齢者障がい者の福祉サービス、子育て支援など、幅広く事業を手がけている。『自分が利用する側で、利用してよかったと思えるにはどうしたらいいかを考えてやってきました。この四月からは学童保育所りん

## みんなで工夫して楽しく活動

NPO法人りんりん理事長  
村上眞喜子さん

ごクラブも始めました。女性が結婚して、子供が生まれても、仕事を辞めずに働き続けてもらいたいですから」

「おかねは無くても、みんなで何とかしよう。工夫すれば何でもできる、という気持ちでがんばってみたいと思います」

の場所を見つけたんです。敷地は広いし、日差しも暖かく、矢勝川に近い南吉の里。何よりも自然が豊か、夕陽がとてもきれいなんです。すっかり気に入りました。一年間探し続け、見つけたのは、平成十一年十二月二十五日、素敵なクリスマスプレゼントだったみんなで大喜びしましたよ」

「人材不足を解消できるチャンスです」と前向きな姿勢を崩さない。「この環境はとびつきりいいですよ。この秋には彼岸花を見に多くの人が訪れました。矢勝

川の土手を大勢の人が連なって歩いています。皆さんから休憩所がないと言われました。そこで、この場所に、道の駅を作ってはどうかと話してあります。地元のお年寄りが元気にお客様と応対し、生きがいをもつて働いていただく。介護予防事業にもなります。五年後の新美南吉生誕百年に向けて実現させたいと思います」



▲「自分が利用する側になって考える」と村上さん